

フラットディスプレイスタンド(S F D S)



組み立て説明書

このたびはフラットディスプレイスタンドをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

お求めのフラットディスプレイスタンドを正しく組み立てていただくため、組み立てる前に必ずこの「組み立て説明書」をよくお読みください。

お読みになったあとは大切に保存してください。

安全上の注意

必ずお読みください

フラットディスプレイスタンドを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる、危害や、損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

◆下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



禁止

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

※取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

警告

組み立て作業は必ず二人以上で行う

❗ 本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重症などを負う可能性も有ります。

ネジは確実に締め付ける

❗ ねじが緩んだままでのご使用は、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重症などを負う可能性も有ります。

搭載質量以上のものを搭載しない

⊘ 本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重症などを負う可能性も有ります。

設置場所が決定したら、キャスターのストッパーを確実にかける

❗ 本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重症などを負う可能性も有ります。

移動時はキャスターのストッパーを確実に解除する

❗ キャスターの破損、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重症などを負う可能性も有ります。

水平でない場所、段差があるなど不安定な場所での移動は行わない

⊘ 本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重症などを負う可能性も有ります。

ディスプレイの説明書と異なった設置条件では取り付けない

⊘ ディスプレイの故障、破損、本製品の転倒、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重症などを負う可能性も有ります。

ディスプレイを搭載したままの移動は、見通しが悪くなるため必ず二人以上で行い、周辺を十分確認する

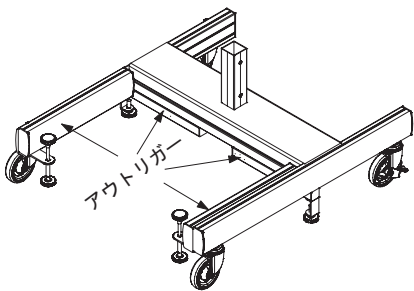
❗ 本製品の転倒、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重症などを負う可能性も有ります。

修理が必要な場合は、直ちに使用をやめる

❗ 本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重症などを負う可能性も有ります。修理が必要な場合は、弊社までご連絡ください。

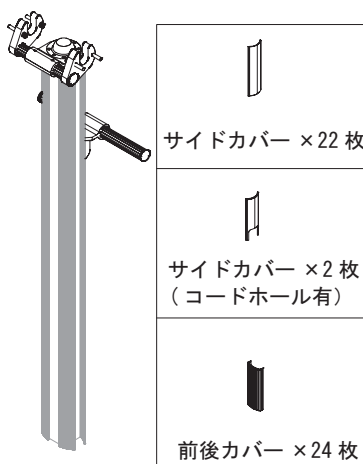
同梱品 組み立て前に下記のユニット、部品、ネジ類がそろっているか確認してください。

◆ベースユニット × 1

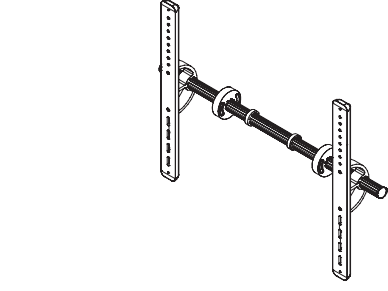


(アウトリガーがないベース ユニットもあります。)

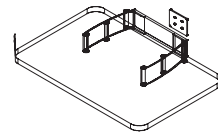
◆ポールユニット × 1



◆ディスプレイ取り付けユニット × 1



◆テーブルユニット × 1

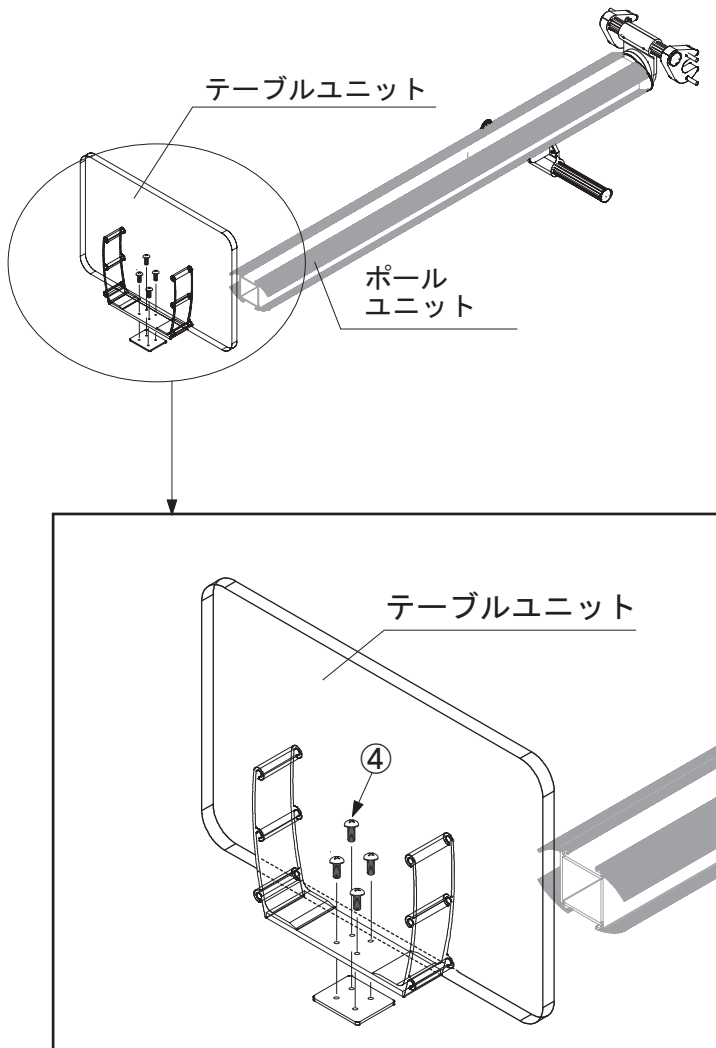


◆取り付け用ネジ類

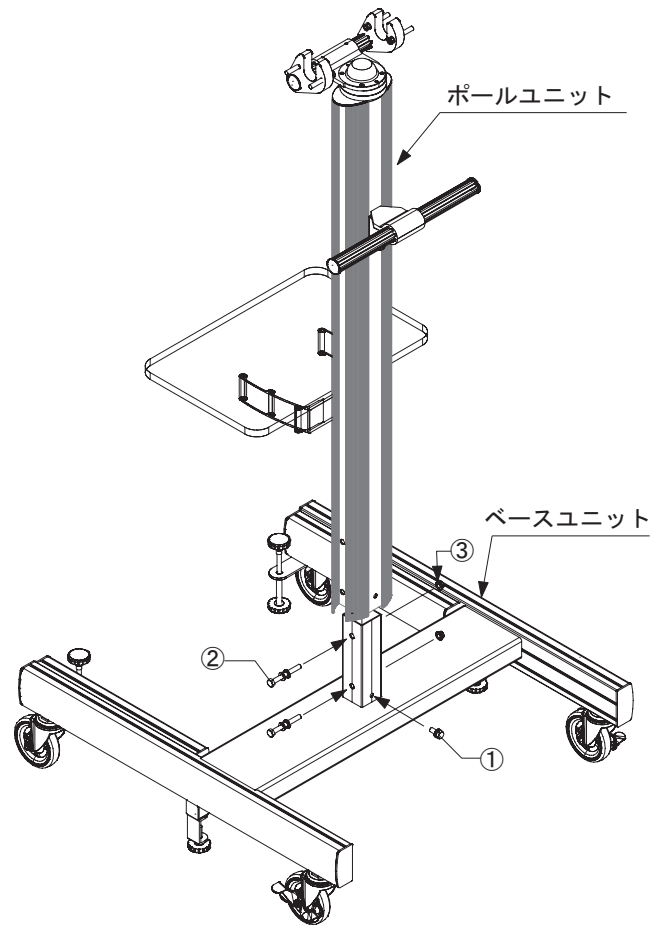
- ① M8×20 ダブルセムネジ 1本
- ② M8×70 ダブルセムスネジ 2本
- ③ M8 フランジナット 6個
- ④ M4×12 トラスネジ 4本
- ⑤ モニター取り付けネジ (モニターにより変わります)
- ⑥ 六角レンチ 呼び径 3

組み立て方法

- ① ポールユニットの下側からテーブルユニットを差し込み、スライドさせて任意の位置に M4 トラスネジ④で固定します。



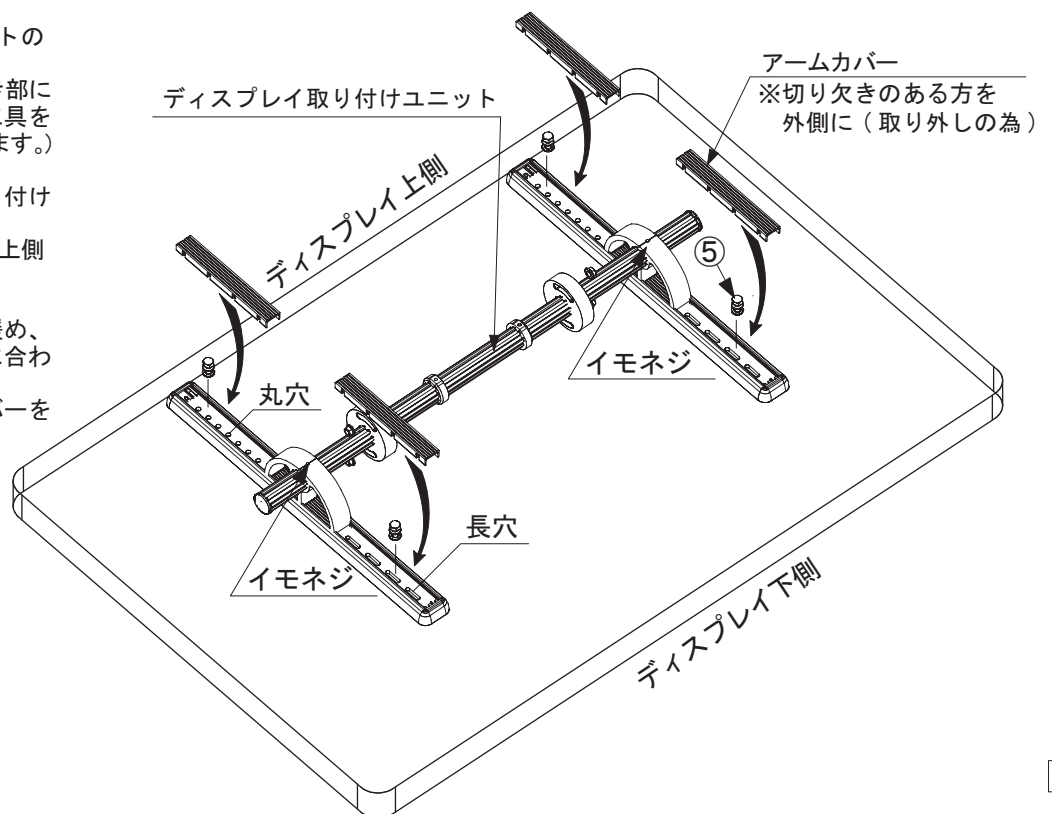
- ② ベースユニットの角パイプにポールユニットを差し込み M8×20 ダブルセムスネジ①で後ろ側から固定します。さらにサイドから M8×70 ダブルセムスネジ②とフランジナット③で 2ヶ所固定します。



- ③ ディスプレイ取り付けユニットのアームカバーを外します。
(アームカバーの外側の切り欠き部にマイナスドライバーのような工具を差し込むと、比較的簡単に外れます。)

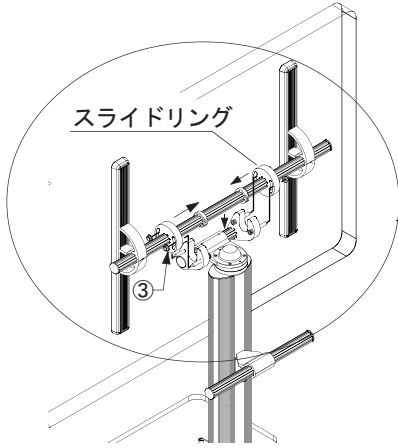
ディスプレイ背面に、背面取り付けユニットを載せます。
(アームの丸穴側をディスプレイ上側にしてください。)

六角レンチ⑥で、イモネジを緩め、ディスプレイの取り付け位置に合わせて、ボルト⑤で固定します。
イモネジを締めて、アームカバーを取り付けします。

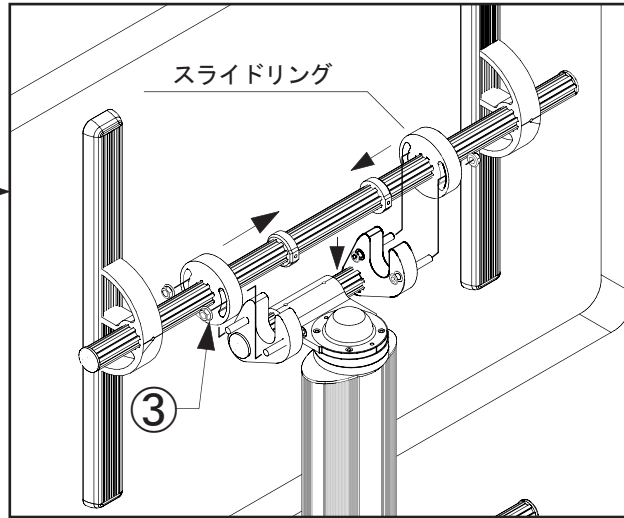


組み立て方法

- ④ ③で組み立てたディスプレイ取り付けユニットをポールユニットに載せ、スライドリングを左右から寄せてフランジナット③で固定します。(角度調整も同時に行ってください)

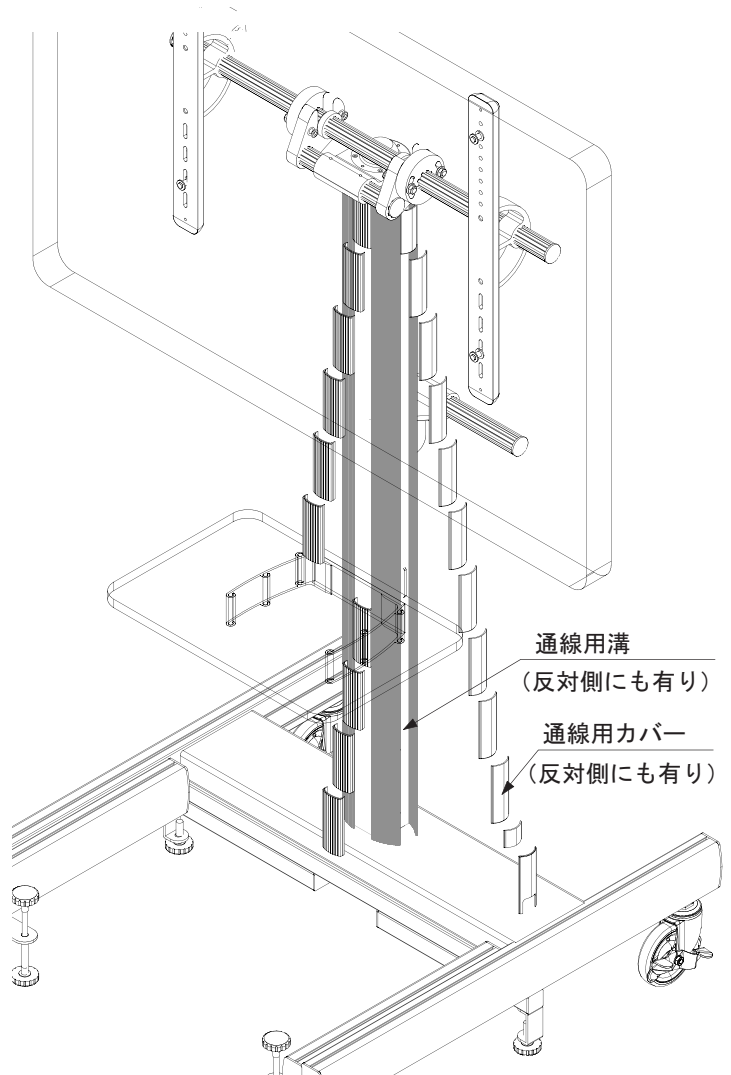


拡大図



警告
ディスプレイの取り付けは、必ず2人以上で行ってください。

- ⑤ サイドカバー、前後カバーをはめ込み装着してください。長さが合わない場合はカッター等で切ってお使いください。



搭載可能質量

ディスプレイ取り付け部	60kg以下
テーブル	10kg以下



搭載質量以上のものを搭載しない。

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重症などを負う可能性も有ります。

KIKUCHI
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC.

株式会社 キクチ科学研究所

本社 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35
TEL. 03-3952-5131(代) FAX. 03-3953-0051

ラジディスプレイ事業部 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-34-6
MOA 402
TEL. 03-5979-9890(代) FAX. 03-5979-9891

大阪営業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-6-24
Y'sピリアアクセス心斎橋7F

TEL. 06-6538-6070(代) FAX. 06-6537-2321

戸田MLC 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木7-13-6
TEL. 048-422-3821(代) FAX. 048-422-3844

http://www.kikuchi-screen.co.jp/
KIKUCHI SCIENCE LAB 2010.01 (SFDH) NW